



Bluetooth 無線搭載バーコードリーダー バーコードプログラミングマニュアル



ITL-780BT

この度は Bluetooth 無線式バーコードリーダーをご購入頂き
誠にありがとうございます。

ご利用前に本誌を十分にお読みいただき製品の準備を行って下さい。

製品のお取り扱いの注意事項	1
製品の開梱.....	1
免責事項	1
サポートページのご案内	1
ユーザーズガイド改定履歴	2
各設定項目の見方	3
クイックセットアップコマンド	3
パラメータセットアップコマンド	4
無線接続モード	5
無線接続を行うための準備	5
通信/充電クレードルをご利用の場合	6
PAIR モード	6
PICO モード.....	6
クローン	7
USB BLUETOOTH アダプタ・内蔵 BLUETOOTH アダプタに直接接続	8
Bluetooth HID モード(PC , Android , iOS)	8
Bluetooth HID レガシーモード(PC , Android)	9
Bluetooth HID モード With Passkey(iOS)	10
Bluetooth SPP スレーブモード(PC , Android)	12
Bluetooth SPP マスターモード(PC , Android).....	13
インターフェース	15
USB(HID)インターフェース	15
USB(COM)インターフェース	15
RS232C インターフェース.....	15
PS/2 インターフェース	15
動作モードオプション(クイックセットコマンド)	16
パワーオフ	16
ページング(PAIR モード・PICO モード)	16
チェックバッテリーステータス.....	16
パッチスキャンニングモード.....	17
パッチスキャンニングモードの開始／終了	17
データトランスミット(データ転送)	17
デリートラストスキャンデータ(最終データ削除)	17

クリアーオールストアデータ(全データ削除)	17
デリートストアデータアフタートランスミッション(データ処理)	18
ストアデータトランスミッション(転送方法)	18
数値入力バーコード	19
バッチスキャニングリンクコントロール	20
データトランスミッションフォーマット	20
フィールドデリミタ	20
インターフェースコントロール	21
キーボードレイアウト(キーボード)	21
レコードサフィックス(キーボード)	22
プリアンプル(キーボード)	22
ポストアンプル(キーボード)	22
FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション(キーボード)	23
キャプスロック(キーボード)	23
キャプスロックリリース(キーボード)	23
インターメッセージディレイ(キーボード)	24
インターキャラクタディレイ(キーボード)	24
インターファンクションディレイ(キーボード)	24
ファンクキーエミュレーション(キーボード)	25
キーパッドエミュレーション(キーボード)	25
アッパー/ローアー(キーボード)	25
STX/ETX 転送(シリアル)	26
レコードサフィックス(シリアル)	26
プリアンプル(シリアル)	26
ポストアンプル(シリアル)	27
FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション(シリアル)	27
インターメッセージディレイ(シリアル)	27
インターキャラクタディレイ(シリアル)	28
インターファンクションディレイ(シリアル)	28
ハンドシェイクプロトコル(シリアル)	28
NAK リトライカウント(シリアル)	29
ACK インジケーション①(シリアル)	29
ACK インジケーション②(シリアル)	29
ボーレート(シリアル)	30
データフレーム(シリアル)	30
シリアルレスポンスタイムアウト(シリアル)	31
無線オプションコントロール	32
BLUETOOTH デバイス名称	32

BLUETOOTH PIN コード	32
BLUETOOTH 認証	32
BLUETOOTH リンククオリティコントロール	33
BLUETOOTH スニッフコントロール	33
レディオオフタイムアウトコネクトステート	34
レディオオフタイムアウトディスコネクトステート	34
パワーオフタイムアウト	34
オプションコントロール	35
ブザー①	35
ブザー②	35
インバースリーディング	35
パワーオンインジケータ	36
グッドリードインジケータ	36
バイブレーションコントロール	36
レディオコネクションビープ	37
ビーピングコントロール①	37
ビーピングコントロール②	37
リダンダンシー	38
リリードディレイ	38
グッドリードディレイ	38
HID モードトランスミットディレイ	39
ライトソースオンタイム	39
グッドリードデュレイション	39
タイムディレイローパワースタンバイモード	40
ローパワースタンバイモードインジケーション	40
アウトオブレンジスキャンング	40
スキャンレートコントロール	41
プレゼンテーションオートセンス	41
オペレーションモード	42
プレゼンテーションセンシティビティ	42
ハンズフリータイムアウト	42
リーダブルシンボロジーセッティング	43
シンボルコード ID	44
シンボル ID トランスミッション	45
データレンジストランスミッション	45
CODE39	46
TRIOPTIC CODE39	46
CODE39(最小桁数)	47

CODE39(最大桁数).....	47
CODE39 セキュリティレベル	47
CODABAR/NW-7	48
CODABAR/NW-7(最小桁数).....	48
CODABAR/NW-7(最大桁数).....	49
UPC	50
UPC/JAN セキュリティレベル	51
UPC アドオン	51
UPC サプリメントスキャンボウディング	52
JAN	53
JAN セキュリティレベル	53
JAN アドオン	54
JAN スキャンボウディング	54
新雑誌コード	55
UCC COUPON EXTENDED CODE	55
IATA	56
INTERLEAVED 2OF5	57
CODE25	57
CODE25(最小桁数).....	58
CODE25(最大桁数).....	58
CODE11	59
CODE11(最小桁数).....	59
CODE11(最大桁数).....	59
CODE93	60
CODE93(最小桁数).....	60
CODE93(最大桁数).....	60
MSI/PLESSEY	61
MSI/PLESSEY (最小桁数)	61
MSI/PLESSEY (最大桁数)	61
CODE128.....	62
CODE128(最小桁数).....	62
CODE128(最大桁数).....	62
GS1-128	63
GS1-128(最小桁数)	63
GS1-128(最大桁数)	63
CODE128 セキュリティレベル	64
UK/PLESSEY	65
UK/PLESSEY (最小桁数).....	65
UK/PLESSEY (最大桁数).....	65

TELEPEN.....	66
TELEPEN (最小桁数).....	66
TELEPEN (最大桁数).....	66
GS1 DATABER.....	67
GS1 DATABER(最小桁数).....	67
GS1 DATABER(最大桁数).....	67
GS1 DATABER LIMITED セキュリティレベル.....	68
AUSTRALIAN POST.....	69
US PLANET.....	69
US POSTNET.....	70
BRITISH POSTNET.....	70
JAPANESE POST.....	70
NETHERLAND KIX CODE.....	71
INTELLIGENT MAIL (USPS 4CB/ONE CODE).....	71
KOREA POST CODE.....	71
データウィザード.....	72
データ付加機能.....	72
データ照合機能.....	74
データ置換機能.....	76
データ構成機能.....	78
データウィザードの設定方法.....	80
ASCIIコードテーブル.....	85
オプションコード(設定用バーコード).....	86
システムコマンドバーコード.....	87
サンプルバーコード.....	88

製品のお取り扱いの注意事項

本製品は安全性を十分に考慮して設計されていますが、誤った使い方をすると思わぬ事故の原因となります。ご利用方法を十分に理解してお使い頂けますようお願い申し上げます。

製品の開梱

梱包箱を開けた際は、下記の確認を行ってください。

- ・ 製品およびケーブル等の損傷がないか確認します。損傷があった場合は、すぐに配達運送会社および販売店にご連絡ください。
- ・ 箱の中身に間違いがないか確認します。
- ・ 修理時の返却もしくは返送が必要な場合に梱包箱が必要になる場合がございます。大切に保管してください。

免責事項

- ・ 本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断りなく変更することがあります。
- ・ 本書の記載内容や編集上の誤り等で発生した損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 本書には著作権で保護された情報が含まれ著作権法の対象になります。

サポートページのご案内

デバイスドライバやドキュメントをご希望の方は下記の URL よりダウンロード頂けます。

「サービス & サポート」のホームページ URL

<http://www.j-itecs.co.jp/product/linearbarcode/wireless/itl-780bt-gv.html>

ユーザズガイド改定履歴

改 定 日 付	REV	改 定 内 容
2016 年 4 月	2.0(C9)	無線式バーコードリーダー向け統合版のリリース
2016 年 7 月	3.0(C10)	無線オプションコントロールのカテゴリ分けを追加 タイムスタンプ機能バーコードの誤配置修正 バッチスキャンモードの配置修正 レディオオフタイムアウト、パワーオフタイムアウトの説明修正
2016 年 9 月	3.1(C11)	製品の開梱についての説明を追加 各種項目の時間表示「msec」を秒単位に統一 「設定しない」表示を「無効」に統一 データレングストランスミッションを追加 Small Data Matrix 設定を追加 サンプルバーコードを修正

各設定項目の見方

本製品の設定は、本書記載のバーコードコマンドを利用します。

設定手順は該当する項目に直接記載をしております。

このページでは各項目の名称や留意事項をお知らせ致します。

クイックセットアップコマンド

下記のフォーマットの記載項目では、設定開始バーコードなどは必要なく該当の項目を一度読み取ることで設定が変更されます。

クイックセットアップコマンド・無線接続モードが該当します。

表示参照例：

クイックセットアップコマンド	
クイックセットアップコマンドはホストインターフェース・オペレーションモードを容易に設定できるコマンドです。 ※クイックセットアップコマンドは設定開始バーコードから設定する必要はありません。 該当するコマンドを読み取って頂くことで設定変更が可能です。	
◆ホストインターフェース◆	
PS/2 (DOS/V) KBW Standard Mode (PS/2 スタンダードモードインターフェース(DOS/V))	PS/2 (DOS/V) KBW Turbo Mode (PS/2 ターボモードインターフェース(DOS/V))
	
Keyboard Replacement (PS/2 リプレイスメントインターフェース)	RS232 Serial (RS232 インターフェース)
	

各設定項目の見方

パラメータセットアップコマンド

下記のフォーマット記載項目では、設定開始・設定終了のバーコードが必要になります。
クイックセットアップコマンド以外は以下の方法で設定します。

表示参照例



設定開始

← 設定開始バーコード

設定終了バーコード →



設定終了

◆設定手順◆

Code 39

設定開始 → 項目バーコード

→ オプションコード(巻末) → 設定終了

<u>設定コード</u> →  ↓ 設定値 ↓	
Code 39 読まない	0
Code 39 読む (初期値)	1
Code 39 スタンダードプライマリフォーマット (初期値)	2
Full ASCII Code 39 プライマリフォーマット	3
Code 32 プライマリフォーマット	4
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	5
スタートストップキャラクタを転送する	6

設定例①:「Code39 を読まない」に設定

設定開始 → 項目バーコード → Code39 読まないの右側の番号が 0 の為、
巻末の設定用バーコードより「0」を読み取る → 設定終了

設定例②:「スタートストップキャラクタを転送する」に設定

表示例を見て頂くと設定変更項目に白い部分と色がついているに分かれています。
これは、Code39 に数種類に設定項目があることを表しています。

設定開始 → 項目バーコード → 巻末の設定用バーコードより「4」を読み取る →
再度項目バーコード → 巻末の設定用バーコードより「6」を読み取る → 設定終了

設定例②の場合、連続して「4」「6」と読み取ると正しく設定が行えませんのでご注意ください。

無線接続モード

無線接続を行うための準備

無線接続を行う際はスキャナがペアリングされていない状態で無線接続を行う必要があります。
以下の手順に従って無線接続の準備を行ってください。

無線接続設定に必要なステータスインジケータの表示状態

スキャナ本体		通信/充電クレードル	
状態	ステータスインジケータ	状態	ステータスインジケータ
初期化状態	赤と緑の点滅	初期化状態	赤と緑の点滅

◆初期化状態でない場合◆

下記の作業を行うことで製品を初期化状態にすることが出来ます。

スキャナ本体

「アンインストール」バーコードを読み取るとスキャナはペアリングを解除して初期化状態に移行します。

通信/充電クレードル

サイドボタンを 5 秒以上長押しします。(PF680BT/PA670BT は背面のリセットボタン)

- * 1: スキャナで「アンインストール」バーコードを読み取っても初期化状態にならない場合や無線接続が出来ない場合は「工場出荷時設定」バーコードを読み取ってください。
工場出荷時設定を読み取った場合、以前設定した項目は全て初期化されます。
- * 2: * 1でも初期化されない場合は、スキャナはバッテリーを再挿入・通信/充電クレードル通信/充電クレードルは電源の再挿入を行い改めてお試しください。

アンインストール



工場出荷時設定



通信/充電クレードルをご利用の場合

通信/充電クレードルは通信機能と充電機能を備えたスキャナ用の通信充電ユニットです。
スキャナと通信/充電クレードルは Bluetooth 無線通信接続で以下の 2 つの接続方法が可能となっています。

PAIR モード（1 台の通信/充電クレードルにスキャナを 1 台接続）

PICO モード（1 台の通信/充電クレードルにスキャナを最大で 7 台接続可能）

◆無線設定手順◆

①: 左記の図のように機器を接続して下さい。



②: スキャナでご希望の無線通信モードのバーコードを読み取して下さい。

PAIR モード

PAIR モードはスキャナと通信/充電クレードルを 1 対 1 で Bluetooth 接続するモードです。



PAIR モード

PICO モード

PICO モードは通信/充電クレードルに複数のスキャナを 1 対 n で Bluetooth 接続するモードです。複数台の接続を行う場合は 2 台目以降のスキャナで②～④を繰り返して下さい。



PICO モード

③: 通信/充電クレードルスマートクレードルにスキャナをセットして下さい。

注意: 20 秒以上スマートクレードルにセットされなかった場合は 2 回のビーブ音が鳴り接続モードが解除されますのでご注意下さい。）

④: スキャナが 4 回の上昇音を鳴らすと無線接続が正常に完了されたことを表します。

注意: エラー音が鳴動する場合は改めて初期化設定から行って下さい。

⑤: ご利用のインターフェース設定を行って下さい。

①～⑤まで問題なく行えば、通信/充電クレードルを利用した無線接続モードの設定は完了となります。

通信/充電クレードルをご利用の場合

クローン

本設定は「**PICO モード**」で運用するお客様が利用可能な設定です。

クローン設定は「表 1」に記載された設定パラメータを PICO モードで接続されたスキャナに簡単に反映することが可能な設定です。

この設定を利用することで設定作業の煩わしさを軽減することが可能となります。

表 1

データトランスミッションパラメータ	ファンクションキーエミュレーション
フィールドデリミタ	キーパッドエミュレーション
データトランスミッションフォーマット	アッパー/ローアーケース
ホストインターフェースコントロール	シリアルインターフェースコントロール
ホストインターフェースセレクション	ハンドシェイキングプロトコル
キーボードインターフェースコントロール	インターメッセージディレイ
キーボードレイアウト	インターファンクションディレイ
インターメッセージディレイ	インターキャラクタディレイ
インターファンクションディレイ	ボーレート
インターキャラクタディレイ	データフレーム
キャプスロックコントロール	タイムアウトコントロール
キャプスロックリリースコントロール	

*** 注意: 本設定は各スキャナが通信/充電クレードルに接続された状態で行って下さい。***

◆無線設定手順◆

①: 左記の図のように機器を PICO モードで接続して下さい。



Bluetooth
通信



②: 1 台目のスキャナで「Save Configuration」を読み取って下さい。



Save Configuration

③: 2 台目以降のスキャナで「Clone」を読み取って頂くと「表 1」のパラメータが反映します。



Clone

USB Bluetooth アダプタ・内蔵 Bluetooth アダプタに直接接続

Bluetooth HID モード(PC , Android , iOS)

接続するホスト端末の Bluetooth アダプタに Bluetooth HID プロファイルで接続します。
通信用ミドルウェアは不要で読み取ったバーコードデータをキーボード出力で転送します。

①: 接続するホスト端末の

Bluetooth 機能を ON にして下さい。



Bluetooth
通信



Bluetooth
通信



②: スキャナで無線通信モードのバーコードを読み取って下さい。



HID モード

③: ホスト端末の「Bluetooth 機器検索」を実行して「スキャナ-xxxx」を検索して下さい。

④: ホスト端末に「スキャナ-xxxx」が表示されたら選択してウィザードを進めて下さい。

メモ: PIN コードの要求がある場合、「00000000(初期値)」を入力して下さい。

⑤: スキャナが 4 回の上昇音を鳴らすと無線接続が正常に完了されたことを表します。

注意: エラー音が鳴動する場合は改めて初期化設定から行って下さい。

①～⑤まで問題なく行えれば Bluetooth HID モードの設定は完了となります。

*** 備考(iOS 向け) ***

本設定で正常に接続が行えない場合は「Bluetooth HID モード with Passkey」をお試し下さい。

*** 備考(Android・PC 向け) ***

本設定で正常に接続が行えない場合は「Bluetooth HID レガシーモード」をお試し下さい。

USB Bluetooth アダプタ・内蔵 Bluetooth アダプタに直接接続

Bluetooth HID レガシーモード(PC , Android)

接続するホスト端末の Bluetooth アダプタに Bluetooth HID プロファイルで接続します。
通信用ミドルウェアは不要で読み取ったバーコードデータをキーボード出力で転送します。

*** Bluetooth HID モードで正常に接続がされない場合はこちらをお試し下さい。***

①: 接続するホスト端末の

Bluetooth 機能を ON にして下さい。



②: スキャナで無線通信モードのバーコードを読み取って下さい。



③: ホスト端末の「Bluetooth 機器検索」を実行して「スキャナ-xxxx」を検索して下さい。

④: ホスト端末に「スキャナ-xxxx」が表示されたら選択してウィザードを進めて下さい。

メモ: PIN コードの要求がある場合、「00000000(初期値)」を入力して下さい。

⑤: スキャナが 4 回の上昇音を鳴らすと無線接続が正常に完了されたことを表します。

注意: エラー音が鳴動する場合は改めて初期化設定から行って下さい。

①～⑤まで問題なく行えれば Bluetooth HID レガシーモードの設定は完了となります。

USB Bluetooth アダプタ・内蔵 Bluetooth アダプタに直接接続

Bluetooth HID モード With Passkey(iOS)

接続する iOS 端末の Bluetooth アダプタに Bluetooth HID プロファイルで接続します。
通信用ミドルウェアは不要で読み取ったバーコードデータをキーボード出力で転送します。

*** Bluetooth HID モードで正常に接続がされない場合はこちらをお試し下さい。 ***

①: 接続するホスト端末の

Bluetooth 機能を ON にして下さい。



Bluetooth
通信



②: スキャナで無線通信モードのバーコードを読み取って下さい。



HID モード With Passkey

③: ホスト端末の「Bluetooth 機器検索」を実行して「スキャナ-xxxx」を検索して下さい。

④: ホスト端末に「スキャナ-xxxx」が表示されたら選択してウィザードを進めて下さい。

⑤: PIN コードが表示されたらオプションコードで PIN コードを読み取って下さい。

オプションコード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

USB Bluetooth アダプタ・内蔵 Bluetooth アダプタに直接接続

⑥: PIN コードの読み取りが終了したら「セット」バーコードを読み取ってください。



セット

⑦: スキャナが 4 回の上昇音を鳴らすと無線接続が正常に完了されたことを表します。

注意: エラー音が鳴動する場合は改めて初期化設定から行って下さい。

①～⑥まで問題なく行えれば Bluetooth HID モード With Passkey の設定は完了となります。

USB Bluetooth アダプタ・内蔵 Bluetooth アダプタに直接接続

Bluetooth SPP スレーブモード(PC , Android)

接続するホスト端末の Bluetooth アダプタに Bluetooth SPP Slave プロファイルで接続します。

読み取ったバーコードデータをバイナリデータで転送します。

キーボードウェッジに変換が必要な場合はソフトウェアが必要となります。

①: 接続するホスト端末の

Bluetooth 機能を ON にして下さい。



Bluetooth
通信



②: スキャナで無線通信モードのバーコードを読み取って下さい。



SPP Slave モード

③: ホスト端末の「Bluetooth 機器検索」を実行して「スキャナ-xxxx」を検索して下さい。

④: ホスト端末に「スキャナ-xxxx」が表示されたら選択してウィザードを進めて下さい。

メモ: PIN コードの要求がある場合、「00000000(初期値)」を入力して下さい。

⑤: スキャナが 4 回の上昇音を鳴らすと無線接続が正常に完了されたことを表します。

注意: エラー音が鳴動する場合は改めて初期化設定から行って下さい。

①～⑤まで問題なく行えれば Bluetooth SPP スレーブモードの設定は完了となります。

USB Bluetooth アダプタ・内蔵 Bluetooth アダプタに直接接続

Bluetooth SPP マスターモード(PC , Android)

接続するホスト端末の Bluetooth アダプタに Bluetooth SPP Master プロファイルで接続します。

読み取ったバーコードデータをバイナリデータで転送します。

キーボードウェッジに変換が必要な場合はソフトウェアが必要となります。

①: 接続するホスト端末の

Bluetooth 機能を ON にして下さい。



Bluetooth
通信



②: ホスト端末の Bluetooth MAC アドレスを確認して下さい。

③: スキャナで無線通信モードのバーコードを読み取って下さい。



SPP Master モード

④: ②で確認したホスト端末の Bluetooth MAC アドレスの通りに次のページにある 設定用バーコードを読み取って下さい。

メモ:

1: PIN コードの要求がある場合、「00000000 (初期値)」を入力して下さい。

2: MAC アドレスの入力が終了するとペアリングを開始します。

⑤: スキャナが 4 回の上昇音を鳴らすと無線接続が正常に完了されたことを表します。

注意: エラー音が鳴動する場合は改めて初期化設定から行って下さい。

①～⑤まで問題なく行えれば Bluetooth SPP マスターモードの設定は完了となります。

USB Bluetooth アダプタ・内蔵 Bluetooth アダプタに直接接続

MAC アドレス設定用バーコード(Bluetooth SPP マスターモード用)



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



セット

◆設定例(MAC アドレスが「12345A789012」の場合)◆

手順 1: MAC アドレス設定用バーコードを MAC アドレスの通りに読み取りを行います。

1 → 2 → 3 → 4 → 5 → A → 7 → 8 → 9 → 1 → 2

手順 2: 「セット」のバーコードを読み取ります。

インターフェース

通信/充電クレードルをご利用の場合はインターフェースの設定が必要になります。

ご希望のインターフェース設定を選び該当のバーコードを読み取ってください。

USB(HID)インターフェース

スタンダードモード（初期値）	ターボモード（高速転送モード）
	
レガシーモード	* PA670BT はレガシーモード非対応
	

USB(COM)インターフェース



注意:USB(COM)インターフェースをご利用の場合は専用の USB シリアルドライバのインストールを行って下さい。シリアルドライバは弊社ホームページよりダウンロード頂けます。

RS232C インターフェース



PS/2 インターフェース

スタンダードモード	ターボモード（高速転送モード）
	
リプレACEMENTモード	
	

USB HID 又は PS/2 インターフェースをご選択された場合は
下記の「日本語キーボード対応」バーコードを読み取ってください。



動作モードオプション(クイックセットコマンド)

パワーオフ

スキャナの電源を切ります。



ページング (PAIR モード・PICO モード)

通信/充電クレードルの組み合わせ状態をブザー音でお知らせします。



チェックバッテリーステータス

バッテリー残量を LED インジケーターでお知らせします。



チェックバッテリーステータス

LED インジケーター

表示方法	バッテリー残量
S:3 回の緑点滅、R:3 回の青点滅	70%以上
S:3 回の緑点滅	50%以上
S:3 回の橙点滅	25%以上
S:3 回の赤点滅	25%以下

S:ステータスインジケーター 、 R:リンクインジケーター

バッチスキャンニングモード

バッチスキャンニングモードは「スキャンデータを保存して一括でデータ転送」するモードです。
数量入力モードの搭載で読み取りデータと数量の一括送信も可能です。

バッチスキャンニングモードの開始／終了

バッチスキャンニングモードの開始／終了を設定します。

有効	無効(初期値)
	

データトランスミット(データ転送)

保存したデータを転送します。



デリートラストスキャンデータ(最終データ削除)

保存した最終データを削除します。



注意:「最後のデータを削除」は最後のスキャンデータ以外は削除されません。

クリアオールストアデータ(全データ削除)

保存されている全てのデータを削除します。



注意:「最後のデータを削除」は最後のスキャンデータ以外は削除されません。

デリートストアデータアフタートランスミッション(データ処理)

データ転送を行った後のデータの保管について設定します。

保存データは削除しない(初期値)	保存データを削除する
	

ストアデータトランスミッション(転送方法)

ストアしたデータをどのタイミングで転送するかを設定します。

「データ転送」バーコードをスキャンしてデータ転送(初期値)

通信/充電クレードルにスキャナをセットすることでデータ転送

上記記載の 2 点とも適用


バッチスキャンモード

数値入力バーコード

スキャンしたバーコードの後にこの数値バーコードを入力すると「ストアデータアウトプットフォーマットの設定」で指定したデータ位置に数値データが入力されます。



0



5



1



6



2



7



3



8



4



9

◆数量入力の方法(例:「12345」のバーコードを読み取り「10」と数量を入力したい。)◆

手順 1: 対象となるバーコード「12345」を読み取ります。

手順 2: 数量入力バーコードで「1」を読み取ります。

手順 3: 数量入力バーコードで「0」を読み取ります。

◆データの転送◆

「ストアデータアウトプットフォーマットの設定」に応じたデータを転送します。

設定値	出力内容
転送時に数量をリンクインジケータで確認	「12345」+ 数量はインジケータで表示
<数量データ><フィールドデリミタ> <スキャンデータ>で転送	「10」「フィールドデリミタ」「12345」で転送
<スキャンデータ><フィールドデリミタ> <数量データ>で転送	「12345」「フィールドデリミタ」「10」で転送

バッチスキャンニングモード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

バッチスキャンニングリンクコントロール

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

バーコードスキャン中の無線利用の有無を設定します。	
バッチデータ転送時のみ Bluetooth 接続	0
Bluetooth を常時接続(初期値)	1

◆設定手順◆

データトランスミッションフォーマット

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

転送データに固体識別用コードを付加します。(PAIR・PICO & USB・RS232C のみ)	
スキャンデータのみ(初期値)	0
<MAC アドレス>と<スキャンデータ>を転送	1
<ID>と<スキャンデータ>を転送	2

◆設定手順◆

フィールドデリミタ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

フィールドデリミタを設定します。	
無効	0
コンマ「,」(初期値)	1
スペース「 」	2
ハイフン「-」	3
ピリオド「.」	4
任意キャラクタ指定(設定方法は巻末の「任意キャラクタ設定」を参照)	5[00 - FF]

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

キーボードレイアウト(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

キーボードレイアウト設定をします。



アメリカ(QWERTY)(初期値)	00
フランス(AZERTY)	01
ドイツ(QWERTZ)	02
イギリス - 英国(QWERTY)	03
カナダフランス(QWERTY)	04
スペイン(Spanish, QWERTY)	05
スウェーデン/フィンランド(QWERTY)	06
ポルトガル(QWERTY)	07
ノルウェー(QWERTY)	08
スペイン(Latin America, QWERTY)	09
イタリア(QWERTY)	10
オランダ(QWERTY)	11
デンマーク(QWERTY)	12
ベルギー(AZERTY)	13
スイス - ドイツ(QWERTZ)	14
アイスランド(QWERTY)	15
日本(DOS/V)	16
チェコ(QWERTY)	17

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

レコードサフィックス(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

終端キーの設定をします。	
	
無効	0
RETURN (初期値)	1
TAB	2
SPACE	3
ENTER(数字キーパット)	4
任意キャラクタ指定	5[00 - 7F]

◆設定手順◆

プリアンブル(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの前に任意のキャラクタを設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (1~15 桁で設定)	[00 - 7F]

◆設定手順◆

ポストアンブル(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの後ろに任意のキャラクタを設定します。	
	
無効 (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (1~15 桁で設定)	[00 - 7F]

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データソースに FNC1 があった場合にキー転送する設定をします。



無効	0
有効(初期値)	1

◆設定手順◆

キャプスロック(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

キャプスロックの設定をします。



無効(初期値)	0
有効	1
自動判別	2

◆設定手順◆

キャプスロックリリース(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

キャプスロックを一時的に解除する設定をします。



キャプスロック有効、キャプス無効(初期値)	0
キャプスロック有効、シフト無効	1

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

インターメッセージディレイ(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データを出力する前にディレイを設定します。



無効(初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.01 秒)	2 桁

◆設定手順◆

インターキャラクタディレイ(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データのキャラクタ毎にディレイを設定します。



無効(初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2 桁

◆設定手順◆

インターファンクションディレイ(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの後ろにディレイを設定します。



無効(初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2 桁

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

ファンクキーエミュレーション(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ファンクションキーの転送方法を設定します。	
ASCII 00-31 キーファンクションコードで転送する (初期値)	0
Ctrl で転送する	1

◆設定手順◆

キーパッドエミュレーション(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

数値キーパッドで転送を設定します。	
無効 (初期値)	0
有効 (Num Lock On)	1

◆設定手順◆

アップパー/ローアー(キーボード)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

キーボードのデータ出力形式を設定します。	
標準 (初期値)	0
反転	1
上段	2
下段	3

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

STX/ETX 転送(シリアル)

STX/ETX 転送を設定します。	
無効(初期値)	0
有効	1

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

レコードサフィックス(シリアル)

終端キーの設定をします。	
無効	0
CR(Hex:0D) (初期値)	1
LF(Hex:0A)	2
CRLF(Hex:0D0A)	3
TAB(Hex:09)	4
SPACE(Hex:20)	5
任意キャラクタ指定(1桁)	6[00 - 7F]

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

プリアンブル(シリアル)

データの前に任意のキャラクタを設定します。	
無効(初期値)	セット
任意キャラクタ指定(1~15桁で設定)	[00 - 7F]

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

ポストアンプル(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの後ろに任意のキャラクタを設定します。



無効(初期値)

セット

任意キャラクタ指定(1～15 桁で設定)

[00 - 7F]

◆設定手順◆

FNC1 シンボルキャラクタトランスミッション(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データソースに FNC1 があつた場合にキー転送する設定をします。



無効

0

有効(初期値)

1

◆設定手順◆

インターメッセージディレイ(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データを出力する前にディレイを設定します。



無効(初期値)

0

設定値 1 - 99 (設定値 × 0.01 秒)

2 桁

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

インターキャラクタディレイ(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データのキャラクタ毎にディレイを設定します。	
無効(初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2 桁

◆設定手順◆

インターファンクションディレイ(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データの後ろにディレイを設定します。	
無効(初期値)	0
設定値 1 - 99 (設定値 × 0.005 秒)	2 桁

◆設定手順◆

ハンドシェイクプロトコル(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

フロー制御を設定します。	
無効(初期値)	0
RTS/CTS(ハードウェアハンドシェイク)	1
ACK/NAK(ソフトウェアハンドシェイク)	2
Xon/Xoff(ソフトウェアハンドシェイク)	3

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

NAK リトライカウント(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データ送信後のフロー制御応答回数の制限を設定します。	
3 回 (初期値)	セット
0 回～255 回	3 桁

◆設定手順◆

ACK インジケーション①(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ACK 応答の表示に関する設定をします。	
無効:タイムアウト (初期値)	0
有効:タイムアウト	1

◆設定手順◆

ACK インジケーション②(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ACK 応答の表示に関する設定をします。	
無効 (初期値)	2
有効	3

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

ボーレート(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

通信速度を設定します。



38400BPS	0	2400BPS	4
19200BPS	1	1200BPS	5
9600BPS (初期値)	2	57600BPS	8
4800BPS	3	115200BPS	9

◆設定手順◆

データフレーム(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

データのフォーマットを設定します。

見方:「8、無し、1」 = 8ビット、パリティ無し、1ストップビット



8、無し、1 (初期値)	0	7、スペース、1	8
8、偶数、1	1	7、マーク、1	9
8、奇数、1	2	7、無し、2	A
8、スペース、1	3	7、偶数、2	B
8、マーク、1	4	7、奇数、2	C
8、無し、2	5	7、スペース、2	D
7、偶数、1	6	7、マーク、2	E
7、奇数、1	7		

インターフェースコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

シリアルレスポンスタイムアウト(シリアル)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

スキャナが応答を待機する時間を設定します。



無効	0	3 秒	6
0.2 秒	1	4 秒	7
0.5 秒 (初期値)	2	5 秒	8
0.8 秒	3	8 秒	9
1 秒	4	10 秒	A
2 秒	5	15 秒	B

無線オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth デバイス名称

Bluetooth デバイス名称を設定します。



初期値の名称 (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (設定方法は巻末の「任意キャラクタ設定」を参照) (F/L シリーズ:1 桁～16 桁、PA シリーズ:1 桁～32 桁)	[00 - 7F]

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth PIN コード

Bluetooth PIN コードを設定します。



初期値の PIN コード「00000000」 (初期値)	セット
任意キャラクタ指定 (1～8 桁で設定)	[30 - 39]

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth 認証

Bluetooth 認証を設定します。



無効	0
有効 (初期値)	1

無線オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Bluetooth リンククオリティコントロール

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth 切断エラーを防ぐ設定をします。 この機能は SPP モード又は HID モードのみ有効な機能です。 この機能のレベルを上げると通信距離が短くなります。			
無効 (初期値)	0	レベル 3	3
レベル 1	1	レベル 4	4
レベル 2	2		

◆設定手順◆

Bluetooth スニッフコントロール

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth モジュールを省電力モードに設定します。	
無効	0
有効 (初期値)	1

無線オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

レディオオフタイムアウトコネクトステート

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth が接続状態で無操作の時間が設定した時間を経過すると無線をオフにします。	
12 (× 5) = 60 分 (初期値)	セット
設定値:0 - 99(時間 = 設定値 × 5 分)	2 桁

◆設定手順◆

レディオオフタイムアウトディスコネクトステート

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth が未接続状態で無操作の時間が設定した時間を経過すると無線をオフにします。	
5 (× 1) = 5 分 (初期値)	セット
設定値:0 - 99(時間 = 設定値 × 1 分)	2 桁

◆設定手順◆

パワーオフタイムアウト

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth がオフの状態で無操作の時間が設定した時間を経過すると電源をオフにします	
1 (× 5) = 5 分 (初期値)	セット
設定値:0 - 99(時間 = 設定値 × 5 分)	2 桁

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ブザー①

読み取りブザーの音程を設定します。



読み取りブザーの音程を設定します。	
無効	0
低音	1
標準（初期値）	2
高音	3
最高音	4

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ブザー②

起動音の設定をします。



起動音の設定をします。	
有効（初期値）	5
無効	6

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

インバースリーディング

白黒反転バーコードに関する設定をします。



白黒反転バーコードに関する設定をします。	
無効（初期値）	0
有効	1

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

パワーオンインジケータ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

起動中のインジケータの点灯方法を設定します。	
無効	0
点灯（初期値）	1
点滅	2

◆設定手順◆

グッドリードインジケータ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り成功時のインジケータの点灯を設定します。	
無効	0
有効（初期値）	1

◆設定手順◆

バイブレーションコントロール

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り成功時のバイブレーションの設定をします。	
無効	0
有効（初期値）	1

オプションコントロール



設定開始



設定終了

レディオコネクションビープ

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Bluetooth 接続時の鳴動パターンを設定します。	
Bluetooth 接続時 4 回の上昇音 / Bluetooth 接続時 4 回の下降音 (初期値)	0
Bluetooth 接続時 2 回の上昇音 / Bluetooth 接続時 2 回の下降音	1

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ビーピングコントロール①

無線接続/切断時のビープ音の設定をします。	
有効 (初期値)	0
無効	1

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ビーピングコントロール②

バッテリー残量が低下したときのビープ音の設定をします。	
有効 (初期値)	2
無効	3

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

リダンダンシー

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り照合レベルの設定をします。			
無効	0	レベル 3	3
レベル 1 (初期値)	1	レベル 4	4
レベル 2	2	レベル 5	5

◆設定手順◆

リリードディレイ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

同一バーコードの読み取りタイミングの設定をします。			
無効	0	標準	3
即時 (初期値)	1	長い	4
短い	2	読まない	5

◆設定手順◆

グッドリードディレイ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り後の次のバーコード読み取りに関する設定をします。			
無効 (初期値)	0	1.5 秒	4
0.2 秒	1	2 秒	5
0.5 秒	2	3 秒	6
1 秒	3		

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

HID モードトランスミットディレイ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

HID モード使用時の送信間隔の設定をします。 * Android 接続時にデータの損失がある場合は 70msec の間隔設定を推奨致します。	
無効 (初期値)	セット
1 回～250msec	3 桁

◆設定手順◆

ライトソースオンタイム

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り LED の投光時間の長さを設定します。			
短い	0	長い (初期値)	2
標準	1	最長	3

◆設定手順◆

グッドリードデュレイション

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り成功音の長さを設定します。			
短い	0	最長	3
標準 (初期値)	1	最短	4
長い	2		

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

タイムディレイローパワースタンバイモード

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

トリガー終了後に省電力モードに入る時間を設定します。



1 秒	0	7 秒	3
3 秒	1	9 秒	4
5 秒 (初期値)	2	即時	5

◆設定手順◆

ローパワースタンバイモードインジケーション

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

ローパワースタンバイモードに入った後のインジケータ動作を設定します。



即時オフ	0
1 分後にオフ (初期値)	1
電源オフまで継続	2

◆設定手順◆

アウトオブレンジスキニング

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

無線エリア圏外又は無線切断中に内部メモリに移行する設定です。

有効を選択した場合、無線切断中でもバーコードを読み取ることが可能となります。

切断中に読み取った蓄積データは無線接続復旧時に全て自動転送されます。



無効 (初期値)	0
有効	1

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

スキャンレートコントロール

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り環境の設定をします。	
	
動的（初期値）	0
固定	1

◆設定手順◆

プレゼンテーションオートセンス

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

クレードルにセットしたに自動発光モードに設定します。	
	
無効（初期値）	0
有効	1

オプションコントロール



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

オペレーションモード

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取り LED の照射モードを設定します。	
トリガーモード (初期値)	0
プレゼンテーションモード	1

◆設定手順◆

プレゼンテーションセンシティビティ

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

プレゼンテーションモードの感度調整を設定します。			
レベル 1	0	レベル 5 (初期値)	4
レベル 2	1	レベル 6	5
レベル 3	2	レベル 7	6
レベル 4	3		

◆設定手順◆

ハンズフリータイムアウト

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

マニュアルモードからオートモードに復帰するタイミングを設定します。			
短い(初期値)	0	最長	3
標準	1	無効	4
長い	2		

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

リーダブルシンボロジーセッティング

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取りシンボルを設定します。



自動（初期値）	00	GS1 Databar(RSS-14)	14
Code-128	01	IATA	15
GS1-128	31		
UPC-A	02		
UPC-E	03		
JAN-13	04		
JAN-8	05	Korea Post Code	21
Codabar / NW-7	06		
Code39	07		
Tripotic Code 39	47		
Standard / Industrial 2 of 5	08		
Matrix 2 of 5	38		
Interleaved 2 of 5	48	Australian Post	B0
Caina Postal Code	58	British Post	B1
Germany Postal Code	68	Intelligent Mail	B3
Code93	09	Japanese Post	B4
Code11	10	KIX Post	B5
MSI/Plessey	11	Planet Code	B6
UK/Plessey	12	Postnet	B8
Telepen	13		

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

シンボルコード ID

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

各シンボルのコード ID を設定します。(初期値 Ci = CINO_ID , AI = AIM_ID)



Code-128 (Ci=B,AI=]C)	00	Trioptic Code39 (Ci=W,AI=]X)	20
GS1-128 (Ci=C,AI=]C)	01	UCC Cupoupon Expanded Code (Cino=Z)	21
UPC-A (Ci=A,AI=]E)	02		
JAN-13 (Ci=F,AI=]E)	03		
Codabar/NW-7 (Ci=D,AI=]F)	04		
Code39/Code32 (Ci=G,AI=]A)	05		
Code93 (Ci=H,AI=]G)	06	Koria Post Code (Cino=a,AIM=]X)	26
Standard/Industrial2of5 (Ci=I,AI=]S)	07		
Inateleaved2of5 (Ci=J,AI=]i)	08		
Matrix2of5 (Ci=K,AI=]X)	09		
Chaina Postal Code (Ci=L,AI=]X)	10		
German Postal Code (Ci=M,AI=]I)	11		
IATA (Ci=O,AI=]R)	12	Australian Post (Cino=g,AIM=]X)	33
Code11 (Ci=P,AI=]H)	13	British Post (Cino=h,AIM=]X)	34
MSI/Plessey (Ci=R,AI=]M)	14	Intelligent Mail* (CIno=j,AIM=]X)	36
UK/Plessey (Ci=S,AI=]P)	15	Japan Post (Cino=k,AIM=]X)	37
Telepen (Ci=T,AI=]B)	16	Netherlands KIX Post (Cino=l,AIM=]X)	38
GS1 Databar (Ci=X,AI=]e)	17	US Planet (Cino=m,AIM=]X)	39
UPC-E (Ci=E,AI=]E)	18	US Postnet (Cino=o,AIM=]X)	41
JAN-8 (Ci=N,AI=]E)	19		

*(USPS 4CB/One Code)

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

シンボル ID トランスミッション

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

シンボル ID の転送設定をします。	
シンボル ID を転送しない（初期値）	0
データの先頭に CINO シンボル ID を付加する。	1
データの後ろに CINO シンボル ID を付加する。	2
データの先頭と後ろに CINO シンボル ID を付加する。	3
データの先頭に AIM シンボル ID を付加する。	4
データの後ろに AIM シンボル ID を付加する。	5
データの先頭と後ろに AIM シンボル ID を付加する。	6

◆設定手順◆

データレングストランスミッション

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

読み取りデータの桁数を出力します。	
無効（初期値）	0
有効(2-4 桁)	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code39

Code39 の各種パラメータを設定します。



Code39 を読まない	0
Code39 を読む (初期値)	1
Code39 スタンダードフォーマット (初期値)	2
Full ASCII Code39 フォーマット	3
Code32 フォーマット	4
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	5
スタートストップキャラクタを転送する	6
Code32「A」を転送しない (初期値)	7
Code32「A」を転送する	8
モジュラス 43 で計算しない (初期値)	9
モジュラス 43 で計算する	A
チェックデジットを転送しない (初期値)	B
チェックデジットを転送する	C
Code39 をバッファリングしない (初期値)	D
Code39 をバッファリングする	E

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Trioptic Code39

Trioptic Code39 の読み取り可否を設定します。



無効 (初期値)	0
有効	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Code39(最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code39 の最小桁数を設定します。	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

Code39(最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code39 の最大桁数を設定します。	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

Code39 セキュリティレベル

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code39 のセキュリティレベルを設定します。	
レベル 0	0
レベル 1	1
レベル 2 (初期値)	2
レベル 3	3

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Codaber/NW-7

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Codaber / NW-7 の各種パラメータを設定します。	
Codaber / NW-7 を読まない	0
Codaber / NW-7 を読む (初期値)	1
Codaber / NW-7 スタンダードフォーマット (初期値)	2
Codaber / NW-7 ABC フォーマット	3
Codaber / NW-7 CLSI フォーマット	4
Codaber / NW-7 CX フォーマット	5
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	6
スタートストップキャラクタを ABCD/ABCD で転送する	7
スタートストップキャラクタを abcd/abcd で転送する	8
スタートストップキャラクタを ABCD/TN*E で転送する	9
スタートストップキャラクタを abcd/tn*e で転送する	A
モジュラス 16 で計算しない (初期値)	B
モジュラス 16 で計算する	C
チェックデジットを転送しない (初期値)	D
チェックデジットを転送する	E

◆設定手順◆

Codabar/NW-7(最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Codaber/NW-7 の最小桁数を設定します。	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Codabar/NW-7(最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Codabar/NW-7 の最大桁数を設定します。	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UPC

UPC の各種パラメータを設定します。



UPC-A を読まない	0
UPC-A を読む（初期値）	1
UPC-E を読まない	2
UPC-E を読む（初期値）	3
UPC-E を UPC-A に変換しない（初期値）	4
UPC-E を UPC-A に変換する	5
UPC を JAN に変換しない（初期値）	6
UPC を JAN に変換する	7
UPC システムナンバーを転送しない	8
UPC システムナンバーを転送する（初期値）	9
UPC-A チェックデジットを転送しない	A
UPC-A チェックデジットを転送する（初期値）	B
UPC-E チェックデジットを転送しない	C
UPC-E チェックデジットを転送する（初期値）	D
先頭桁“1”の場合は UPC と識別しない（初期値）	E
先頭桁“1”の場合は UPC と識別する	F

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UPC/JAN セキュリティレベル

UPC デコードセキュリティレベルを設定します。

レベル 1 が最速の読み取り設定となります。



レベル 0	0	レベル 1 (初期値)	1
レベル 2	2		

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UPC アドオン

UPC のアドオン設定をします。



UPC アドオン無し (初期値)	0
UPC アドオン 2 桁を読む	1
UPC アドオン 5 桁を読む	2
UPC アドオン 2 / 5 桁を読む	3
UPC アドオンが追加されていないコードも読む (初期値)	4
UPC アドオンが追加されていないコードは読まない	5
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加しない (初期値)	6
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加する	7

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

UPC サプリメントスキャンボウディング

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

サプリメントスキャンボウディングはアドオン 2/5 桁を読み取る際の設定です。

この設定でデータを転送する前のデコード回数を設定します。

より高いレベルで設定をすると低コントラストや損傷したバーコードの
読み取り速度に影響を与える可能性があります。



無効	0	レベル 7	7
レベル 1	1	レベル 8	8
レベル 2	2	レベル 9	9
レベル 3 (初期値)	3	レベル 10	A
レベル 4	4	レベル 11	B
レベル 5	5	レベル 12	C
レベル 6	6	レベル 13	D

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

JAN

JAN の各種パラメータを設定します。



JAN-13 を読まない	0
JAN-13 を読む (初期値)	1
JAN-8 を読まない	2
JAN-8 を読む (初期値)	3
JAN-8 を JAN-13 に変換しない (初期値)	4
JAN-8 を JAN-13 に変換する	5
JAN-13 チェックデジットを転送しない	6
JAN-13 チェックデジットを転送する (初期値)	7
JAN-8 チェックデジットを転送しない	8
JAN-8 チェックデジットを転送する (初期値)	9
ISBN/ISSN に変換しない (初期値)	A
ISBN/ISSN に変換する	B

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

JAN セキュリティレベル

JAN デコードセキュリティレベルを設定します。

レベル 1 が最速の読み取り設定となります。



レベル 0	0	レベル 1 (初期値)	1
レベル 2	2		

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

JAN アドオン

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

JAN のアドオン設定をします。	
JAN アドオン無し（初期値）	0
JAN アドオン 2 桁を読む	1
JAN アドオン 5 桁を読む	2
JAN アドオン 2 / 5 桁を読む	3
JAN アドオンが追加されていないコードも読む（初期値）	4
JAN アドオンが追加されていないコードは読まない	5
JAN アドオン先頭桁にスペースを追加しない（初期値）	6
JAN アドオン先頭桁にスペースを追加する	7

◆設定手順◆

JAN スキャンボウディング

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

サプリメントスキャンボウディングはアドオン 2/5 桁を読み取る際の設定です。 この設定でデータを転送する前のデコード回数を設定します。 より高いレベルで設定をすると低コントラストや損傷したバーコードの読み取り速度に影響を与える可能性があります。			
無効	0	レベル 7	7
レベル 1	1	レベル 8	8
レベル 2	2	レベル 9	9
レベル 3（初期値）	3	レベル 10	A
レベル 4	4	レベル 11	B
レベル 5	5	レベル 12	C
レベル 6	6	レベル 13	D

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

新雑誌コード

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

新雑誌コード(JAN)の設定します。	
無効(初期値)	0
全てのアドオン追加バージョンを読む	1
先頭 491 のアドオン追加バージョンのみを読む	2
先頭 978/979 のアドオン追加バージョンのみを読む	3
先頭 977 のアドオン追加バージョンのみを読む	4
先頭 378/379 のアドオン追加バージョンのみを読む	5
先頭 414/419 のアドオン追加バージョンのみを読む	6
先頭 434/439 のアドオン追加バージョンのみを読む	7

◆設定手順◆

UCC Coupon Extended Code

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UCC Coupon Extended Code の設定します。	
UCC Coupon Code を有効にすると UPC-A 先頭桁「5」と JAN-13「99」から 始まるコードを読み取ります。	
この設定を有効にするには、UPC-A・JAN13 及び GS1-128 の全ての読み取りを 許可しなければなりません。	
無効(初期値)	0
有効	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

IATA

IATA の各種パラメータを設定します。



IATA 読まない(初期値)	0
IATA 読む	1
15 桁の IATA を検査する (初期値)	2
可変長の IATA を読む	3
チェックデジットを検査しない (初期値)	4
チェックデジットを検査する	5
S/N のみを検査する	6
CAN のみを検査する	7
S/N・CAN を検査する	8
チェックデジットを転送しない (初期値)	9
チェックデジットを転送する	A
スタートストップキャラクタを転送しない (初期値)	B
スタートストップキャラクタを転送する	C

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Interleaved 2of5

Interleaved2of5 の各種パラメータを設定します。



Interleaved2of5 を読まない	0
Interleaved2of5 を読む (初期値)	1
Interleaved2of5 フォーマット (初期値)	2
German Postal フォーマット	3
チェックデジット無効 (初期値)	4
USS チェックデジット有効	5
OPCC チェックデジット有効	6
チェックデジットを転送しない (初期値)	7
チェックデジットを転送する	8

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code25

Code25 の各種パラメータを設定します。

Code25 を読み取る場合は誤読防止のため桁数を限定して
1 種類のコード体系の読み取りをお奨めいたします。



Standard / Industrial 2of5 を読まない	0
Standard / Industrial 2of5 を読む (初期値)	1
Matrix 2of5 を読まない (初期値)	2
Matrix 2of5 を読む	3
チェックデジットを計算しない (初期値)	6
チェックデジットを計算する	7
チェックデジットを転送しない (初期値)	8
チェックデジットを転送する	9

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Code25(最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code25 の最小桁数を設定します。	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

Code25(最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code25 の最大桁数を設定します。	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code11

Code11 の各種パラメータを設定します。



Code11 を読まない	0
Code11 を読む (初期値)	1
チェックデジットを計算しない (初期値)	2
1 桁目のチェックデジットを計算する	3
2 桁目のチェックデジットを計算する	4
チェックデジットを転送しない (初期値)	5
チェックデジットを転送する	6

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code11(最小桁数)

Code11 の最小桁数を設定します。



4 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code11(最大桁数)

Code11 の最大桁数を設定します。



98 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code93

Code93 の各種パラメータを設定します。



Code93 を読まない	0
Code93 を読む (初期値)	1
チェックデジットを転送しない (初期値)	2
チェックデジットを転送する	3

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code93(最小桁数)

Code93 の最小桁数を設定します。



1 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code93(最大桁数)

Code93 の最大桁数を設定します。



98 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

MSI/Plessey

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

MSI/Plessey の各種パラメータを設定します。	
MSI/Plessey を読まない (初期値)	0
MSI/Plessey を読む	1
モジュラス 10 で計算する (初期値)	2
モジュラス 10-10 で計算する	3
モジュラス 11-11 で計算する	4
チェックデジットを転送しない (初期値)	5
チェックデジットを転送する	6

◆設定手順◆

MSI/Plessey (最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

MSI/Plessey の最小桁数を設定します。	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

MSI/Plessey (最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

MSI/Plessey の最大桁数を設定します。	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Code128

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 の各種パラメータを設定します。	
	
Code128 と GS1-128 を読まない	0
Code128 と GS1-128 を読む (初期値)	1
ISBT 連結しない (初期値)	2
ISBT 連結する	3

◆設定手順◆

Code128(最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 の最小桁数を設定します。	
	
1 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

Code128(最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 の最大桁数を設定します。	
	
98 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1-128

GS1-128 の各種パラメータを設定します。



GS1-128 を読まない	0
GS1-128 を読む (初期値)	1

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1-128(最小桁数)

GS1-128 の最小桁数を設定します。



1 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1-128(最大桁数)

Code128 の最大桁数を設定します。



98 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

Code128 セキュリティレベル

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Code128 のデコードセキュリティレベルを設定します。

レベル 1 では印刷品質が悪く誤読をする場合はレベル 0 を選択して下さい。



レベル 0	0
レベル 1 (初期値)	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

UK/Plessey

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UK/Plessey の各種パラメータを設定します。	
	
UK/Plessey を読まない (初期値)	0
UK/Plessey を読む	1
UK/Plessey スタANDARDフォーマット (初期値)	2
UK/Plessey CLSI フォーマット	3
A-F を X に変換しない (初期値)	4
A-F を X に変換する	5
チェックデジットを転送しない (初期値)	6
チェックデジットを転送する	7

◆設定手順◆

UK/Plessey (最小桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UK/Plessey の最小桁数を設定します。	
	
4 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

UK/Plessey (最大桁数)

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

UK/Plessey の最大桁数を設定します。	
	
74 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Telepen

Telepen の各種パラメータを設定します。



Telepen を読まない (初期値)	0
Telepen を読む	1
Telepen 数字モード (初期値)	2
Telepen フルアスキーモード	3
チェックデジットを転送しない (初期値)	4
チェックデジットを転送する A-F を X に変換する	5

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Telepen (最小桁数)

Telepen の最小桁数を設定します。



4 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Telepen (最大桁数)

Telepen の最大桁数を設定します。



74 桁 (初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 98 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1 Databar

GS1 Databar の各種パラメータを設定します。



GS1 Databar (RSS-14)を読まない	0
GS1 Databar (RSS-14)を読む(初期値)	1
GS1 Databar Limited を読まない	2
GS1 Databar Limited を読む(初期値)	3
GS1 Databar Expanded を読まない	4
GS1 Databar Expanded を読む(初期値)	5

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1 Databar(最小桁数)

GS1 Databar の最小桁数を設定します。



4 桁(初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 74 桁)	数字 2 桁

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1 Databar(最大桁数)

GS1 Databar の最大桁数を設定します。



74 桁(初期値)	セット
任意桁数(1 桁 - 74 桁)	数字 2 桁

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

GS1 Databar Limited セキュリティレベル

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

GS1 Databar Limited のセキュリティレベルを設定します。

この機能は F460、F560 のみ対応します。



レベル 1	0
レベル 2	1
レベル 3(初期値)	2

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Australian Post

Australian Post のパラメータを設定します。	
	
Australian Post を読まない (初期値)	0
Australian Post を読む	1
生データ出力 (初期値)	2
数字エンコード出力 (N エンコードテーブル)	3
アルファベットエンコード出力 (C エンコードテーブル)	4
自動判別出力 (C & N エンコードテーブル)	5

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

US Planet

US Planet のパラメータを設定します。	
	
US Planet を読まない (初期値)	0
US Planet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

US Postnet

US Postnet のパラメータを設定します。	
	
US Postnet を読まない (初期値)	0
US Postnet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

British Postnet

British Postnet のパラメータを設定します。	
	
British Postnet を読まない (初期値)	0
British Postnet を読む	1
チェックデジットを送信しない (初期値)	2
チェックデジットを送信する	3

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Japanese Post

Japanese Post のパラメータを設定します。	
	
Japanese Post を読まない (読まない)	0
Japanese Post を読む	1

シンボル



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Netherland KIX Code

Netherland KIX Code のパラメータを設定します。



Netherland KIX Code を読まない (読まない)	0
Netherland KIX Code を読む	1

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Intelligent Mail (USPS 4CB/One Code)

Intelligent Mail のパラメータを設定します。



Intelligent Mail を読まない (読まない)	0
Intelligent Mail を読む	1

◆設定手順◆

設定開始 → 項目バーコード→

オプションコード(巻末) → 設定終了

Korea Post Code

Korea Post Code のパラメータを設定します。



Korea Post Code を読まない (読まない)	0
Korea Post Code を読む	1

データウィザード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

データ付加機能

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

読み取ったデータに任意のキャラクタを付加する設定をします。	
無効（初期値）	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2 桁
全てのシンボルを適用する	00

◆設定手順◆

セット 1

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

任意のキャラクタ1を設定します。（最大 3 キャラクタ）	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

セット 2

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

任意のキャラクタ2を設定します。（最大 3 キャラクタ）	
無効(初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

セット 3

任意のキャラクタ3を設定します。(最大 3 キャラクタ)	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

セット 4

任意のキャラクタ4を設定します。(最大 3 キャラクタ)	
無効 (初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

データ照合機能

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

読み取ったデータを照合する設定をします。	
	
無効（初期値）	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2 桁
全てのシンボルを適用する	00

◆設定手順◆

データ桁数

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

読み取ったデータの桁数を設定します。	
	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

セット 1

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

照合するデータ 1 を設定します。	
	
無効（初期値）	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

セット 2

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

照合するデータ 2 を設定します。	
	
無効(初期値)	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

セット 3

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

照合するデータ 3 を設定します。	
	
無効(初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

データ置換機能

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

読み取ったデータを置換する設定をします。	
無効(初期値)	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2 桁
全てのシンボルを適用する	00

◆設定手順◆

セット 1

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

置換するデータ 1 を設定します。	
無効(初期値)	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

セット 2

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

置換するデータ 2 を設定します。	
無効(初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

セット 3

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

置換するデータ 3 を設定します。



無効(初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

データ構成機能

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

読み取ったデータの出力構成を設定します。	
無効(初期値)	セット
特定のシンボルを指定して適用する	2 桁
全てのシンボルを適用する	00

◆設定手順◆

セット 1(後方出力)

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

データの後方を出力する設定をします。	
無効(初期値)	セット
有効	設定手順参照

◆設定手順◆

セット 2(前方出力)

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

データの前方を出力する設定をします。	
無効(初期値)	セット
有効	設定手順参照

データウィザード



設定開始



設定終了

◆設定手順◆

指定キャラクタのデータ

データウィザード設定方法のページを
参照して下さい。

指定した桁数のキャラクタを含む・含まないの設定をします。



指定した桁数のキャラクタを含む・含まないの設定をします。	
	
指定された桁数のデータを送信データに含まない（初期値）	0
指定された桁数のデータを送信データに含む	1

データウィザード

データウィザードの設定方法

(1) シンボル

データウィザードで使用するシンボルコードは下記をご参照下さい。

1次元シンボル			
Code-128	01	Caina Postal Code	58
GS1-128	31	Germany Postal Code	68
UPC-A	02	Standard / Industrial 2 of 5	08
UPC-A アドオン 2桁	32	Code93	09
UPC-A アドオン 5桁	42	Code11	10
UPC-E	03	MSI/Plessey	11
UPC-E アドオン 2桁	33	UK/Plessey	12
UPC-E アドオン 5桁	43	Telepen	13
JAN-13	04	GS1 Databar(RSS-14)	14
JAN-13 アドオン 2桁	34	IATA	15
JAN-13 アドオン 5桁	44	Coupon Code	16
JAN-8	05		
JAN-8 アドオン 2桁	35		
JAN-8 アドオン 5桁	45		
Codabar / NW-7	06		
Code39	07	GS1 Databar Limited	22
Code32	37	GS1 Databar Expanded	23
Tripotic Code 39	47		
Matrix 2 of 5	38		
Interleaved 2 of 5	48		
ポータルコード			
Korea Post Code	21	Japanese Post	B4
Australian Post	B0	KIX Post	B5
British Post	B1	Planet Code	B6
Intelligent Mail	B3	Postnet	B8

データウィザード

(2) 設定方法の例

データ付加機能

例: Code39 の「0123456789」の 45 の間に A を付加する。

①: Code39 を指定

設定開始 → 設定コード(データ付加機能) → Code39 を指定「07」→ 設定終了

②: ①を指定して 45 の間に A キャラクタを付加

設定開始 → 設定コード(セット 1) → 位置指定「セット1」→ キャラクタを指定「41」
→ 設定終了

設定後の出力結果は「0123456789」が「01234A56789」となります。

データ照合機能

例: Code39 の「0123456789」の 4 を一致照合する。

①: Code39 を指定

設定開始 → 設定コード(データ照合機能) → Code39 を指定「07」→ 設定終了

②: データの桁数を照合

設定開始 → 設定コード(データ桁数) → 桁数指定「10」→ セット → 設定終了

③: データのキャラクタを照合

設定開始 → 設定コード(セット 1) → 位置指定「05」→ キャラクタ指定「34」→
セット → 設定終了

設定後は Code39 で 5 桁目が 4 の場合のみ読み取りを行います。

データウィザード

データ置換機能

例: Code39 の「0123456789」の 4 を A に置換する。

①: Code39 を指定

設定開始 → 設定コード(データ置換機能) → Code39 を指定「07」→ 設定終了

②: 位置を指定して置換キャラクタを指定

設定開始 → 設定コード(セット1) → 位置指定「05」→ キャラクタ指定「41」→
セット → 設定終了

設定後の出力結果は「0123456789」が「0123A56789」となります。

データ構成機能

例: JAN-13、「4976558101499」から「6558101」のみを出力する。

①: JAN-13 を指定

設定開始 → 設定コード(データ置換機能) → Code39 を指定「04」→ 設定終了

②: セット1(後方出力)を指定

設定開始 → 設定コード(セット1) → 位置指定「03」→ 後方出力「1」→ 設定終了

③: セット2(前方出力)を指定

設定開始 → 設定コード(セット2) → 位置指定「09」→ 前方出力「0」→ 設定終了

④: 指定キャラクタの出力を指定

設定開始 → 設定コード(指定キャラクタのデータ) → 含む「1」→ 設定終了

設定後の出力結果は「4976558101499」が「6558101」となります。

データウィザード

データ構成機能の設定イメージ

位置情報

位置	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
桁数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
データ	4	9	7	6	5	5	8	1	0	1	4	9	9

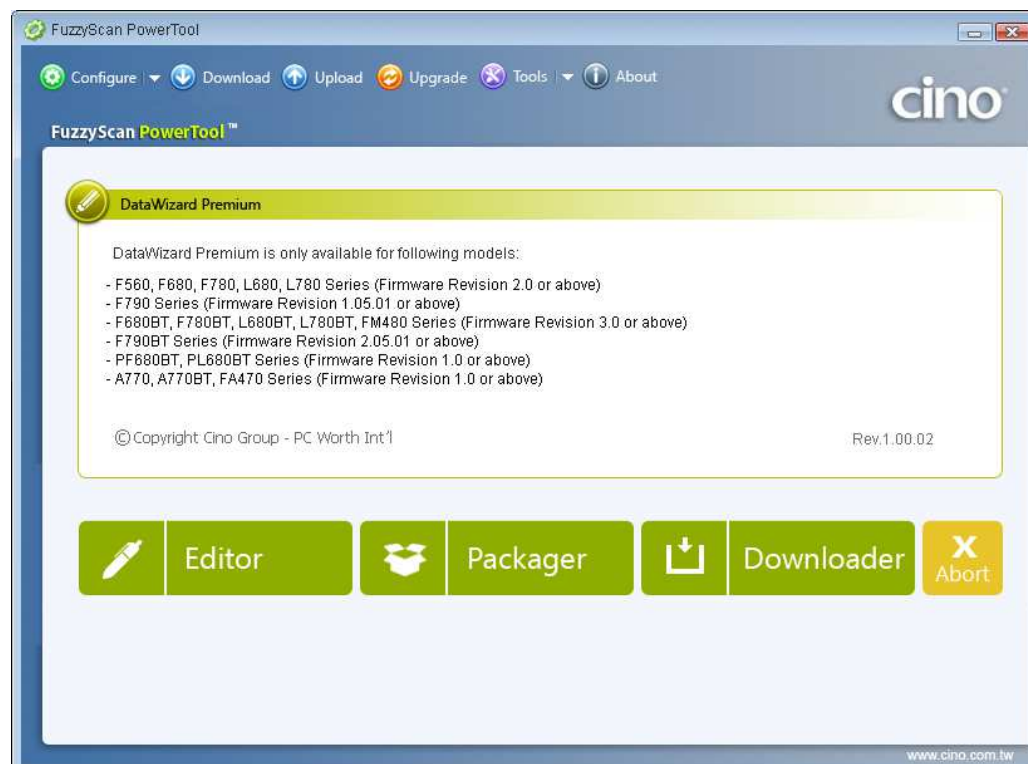
設定イメージ解説

セット 1	4 番目以降のデータを出力する												
セット 2	9 番目以前のデータを出力する												
指定	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

データウィザードで編集が難しい場合

データウィザードで編集が難しい場合はデータ高編集プラグイン機能の「データウィザードプレミアム」をご検討下さい。

本機能をご希望のお客様は販売代理店にご相談下さい。



ファンクションコードテーブル(キーボード)

ファンクションコードテーブルは制御コードが挿入されたバーコードをを読み取った際に置き換わるファンクションキーを記載した表です。

No	ANSI	ASCII	ファンクション	No	ANSI	ASCII	ファンクション
00	NUL	00	Reserved	16	DLE	10	F7
01	SOH	01	CTRL(Left)	17	DC1	11	F8
02	STX	02	ALT(Left)	18	DC2	12	F9
03	ETX	03	Shift	19	DC3	13	F10
04	EOT	04	Caps Lock	20	DC4	14	F11
05	ENQ	05	Num Lock	21	NAK	15	F12
06	ACK	06	ESC	22	SYN	16	Ins(Insert)(Edit)
07	BEL	07	F1	23	ETB	17	Del(Delete)(Edit)
08	BS	08	Back Space	24	CAN	18	Home(Edit)
09	HT	09	Tab	25	EM	19	End(Edit)
10	LF	0A	F2	26	SUB	1A	PageUp(Edit)
11	VT	0B	F3	27	ESC	1B	PageDown(Edit)
12	FF	0C	F4	28	FS	1C	Up(Edit)
13	CR	0D	Enter(CR)	29	GS	1D	Down(Edit)
14	SO	0E	F5	30	RS	1E	Left(Edit)
15	SI	0F	F6	31	US	1F	Right(Edit)

*ASCII は HEX 表示です。

ASCII コードテーブル

ASCII コード表はキャラクタの指定に使う表です。

各種設定で利用する際は HEX 値の指定でキャラクタを選択します。

HEX 値	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SPACE	0	@	P	•	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	I	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	~	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

キャラクタの指定例

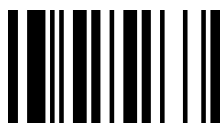
「1」を指定する場合

“1”は横の列で 4 列目にあり、横列の番号で言うと「3」の列にあります。

“1”は縦の列で 2 列目にあり、縦列の番号で言うと「1」の列にあります。

従って、横“3” 縦“1”となり設定用オプションバーコードで 1 を指定する際は「31」となります。

オプションコード(設定用バーコード)



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



セット



設定終了

システムコマンドバーコード

工場出荷時設定



本設定バーコードを読み取ると全ての設定が工場出荷時の初期値に戻ります。

システムインフォメーションリスト



本設定バーコードを読み取ると指定したインターフェースからバージョンを出力します。

セーブユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると現在の設定をフラッシュエリアに保存します。

ユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると保存した設定を呼び出して設定されます。

サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



JAN-13



JAN-8



Code39



サンプルバーコード

Codabar / NW-7



Interleaved 2of5



Code93



Matrix 2of5



Code128



サンプルバーコード

GS1 Databar(RSS-14)



新雑誌コード

(JAN13 + アドオン 5 桁)





株式会社アイテックス

〒111-0041 東京都台東区元浅草 1-6-13
元浅草 MN ビル 6F

TEL : 03-5246-9420 FAX : 03-5246-9421

<http://www.ij-itecs.co.jp>

201702